# 第２講　経済社会の変容②

## 1　経済思想のあゆみ

### ①重商主義

トマス＝マン（英）ら。産業革命以前の絶対主義時代（16 世紀～ 18 世紀半ば）に，「国家の富は金・銀や貨幣のみ（＝重金主義)」のち「国家の富は貿易の差額によって蓄積される金・銀や貨幣のみ（＝貿易差額主義)」とした考え。国内産業を保護して輸出の振興に努める保護貿易政策がとられた。

### ②重農主義

ケネー（仏）ら。「農業労働だけが富を生む産業」とした考え。重商主義の保護貿易政策を批判し，**自由放任主義〔レッセ＝フェール〕**を主張した。

## ③（イギリス）古典派経済学

18 ～ 19 世紀の**イギリス**を中心とする経済思想。自由放任・自由競争を主張。

A　**アダム＝スミス（英）**→主著『**国富論**（こくふろん）〔**諸国民の富**〕』『道徳感情論』

「労働が富の源泉」とした考え。経済活動に国家は干渉すべきではなく，**自由放任主義〔レッセ＝フェール〕**を主張し重商主義を批判。各人が自由な経済活動を行えば，神の「**見えざる手**」により社会の調和が生まれると説いた。

※このような「**小さな政府〔安価**（あんか）**な政府〕**」を理想とする国家観は，**ラッサール（独）**により「**夜警国家**」と批判された。

B　**リカード（英）**→主著『経済学及び課税の原理』

工場内・国内での分業にとどまらず，貿易を通じた国際的分業が，すべての国の経済厚生を改善するという**比較生産費説〔比較優位の理論〕**を唱え，**自由貿易論を展開**。

※穀物輸入を制限する穀物法に反対し，マルサス（英）と論争。

C　その他

マルサス（英）『人口論』，ミル（英）『経済学原理』など。

## ④（ドイツ）歴史学派経済学

『経済学の国民的体系』の著者**リスト（独）**が経済発展段階説に立つ**保護貿易論を展開**。後進国の幼稚産業を保護するべきと説いた。

## ⑤マルクス経済学

友人**エンゲルス（独）**の協力･援助を受けた**マルクス（独）**が『**資本論**』を著し，資本主義の矛盾(むじゅん)を克服(こくふく)し人間性を回復することを目指した。資本主義にもとづく市場経済は諸問題を自ら解決できないので，**社会主義〔共産主義〕にもとづく計画経済**への移行が必然だと説いた。

※マルクスとエンゲルスは，自らの思想を「**科学的社会主義**」とし，サン＝シモン（仏），ロバート＝オーウェン（英），フーリエ（仏）らによる従来の観念的な社会主義思想を「空想的社会主義」とよび区別した。

※マルクスは，生産物に価値を与えるのは投下された労働であるとし（＝**労働価値**），利潤（＝剰余(じょうよ)価値）の源泉は資本家による労働者からの搾取(さくしゅ)であると考え，公正な社会の実現を目指した。

## ⑥近代経済学

1870年代以降の，マルクス経済学に対する経済学の総称。とくに1929年の世界恐慌発生以後は，市場が機能不全に陥(おちい)り，政府が介入して問題を解決する**修正資本主義**が成立し，**混合経済**体制が常となった。

A　ピグー（英）→主著『厚生経済学』

新古典派の創始者マーシャル(英)の後継者。独占・寡占の公的規制や税制（累進(るいしん)所得税）による所得の再分配，環境税の導入による福祉の高まりを理論化して，市場への政府介入を正当化した。

B　**ケインズ（英）**→主著『**雇用・利子及び貨幣の一般理論**』

ピグーと同じくマーシャルの門下生。市場にかわり政府・中央銀行が財政・金融政策で民間投資を刺激すれば，**有効需要（＝貨幣の支出をともなう需要）**が拡大して景気回復と**完全雇用**を達成できることを理論化し，「**大きな政府**」への道をひらいた。

※**ケインズ学派**は伝統的な古典派経済学と反対の説を唱え，**ケインズ革命**とよばれた。

## ⑦世界恐慌（1929年10月24日～）

**ニューヨーク(米)**ウォール街の証券取引所における株価大暴落(“暗黒の木曜日(ブラックサーズデー)”)が，資本主義国全体に波及。「もてる国」の**アメリカ**は，**フランクリン＝ローズヴェルト大統領**による**ニューディール政策**や中南米諸国との善隣外交，**イギリス・フランス**は**ブロック経済**政策を展開。「もたざる国」の日本・ドイツ・イタリアは，右翼的全体主義による対外侵略に活路を見出すこととなった。

※左翼的全体主義の**ソ連は，社会主義体制下でスターリンが計画経済を展開し，世界恐慌の影響なし。**

※「ニューディール」の具体例として，全国産業復興法〔NIRA〕・農業調整法〔AAA〕・テネシー川流域開発公社〔TVA〕・失業救済法・**ワグナー法・社会保障法**などがある。

## ⑧現代経済学

現代の主流である**修正資本主義**では，私的利潤の追求を目的に行動する私的経済部門と，社会的利益を目的に行動する公的経済部門とが併存し，さらに非営利の民間団体 NPO〔非営利組織〕や NGO〔非政府組織〕も存在する（＝**混合経済**）。

※第二次世界大戦（1939 ～ 45 年）の後，主要先進国は高度経済成長を達成したが，1970 年代に**２度の石油危機**を経験し，**スタグフレーション**に悩まされることになった。1970 年代末～ 80 年代前半には，イギリスのサッチャー首相・アメリカのレーガン大統領・日本の中曽根康弘首相らに象徴されるように，自由化・規制緩和や公営事業の民営化，福祉支出の削減を通じて国家の市場介入を縮小し，「**小さな政府**」を目指す**新自由主義**〔**ネオリベラリズム**〕が世界的潮流となった。

※ 2000 年代の小泉純一郎首相も規制緩和を推進し，格差の拡大につながった。

A　**シュンペーター（墺）**→主著『経済発展の理論』

新製品の開発や新たな生産方法の導入などの**技術革新**〔**イノベーション**〕が起こす「創造的破壊」こそが資本主義経済発展の原動力であるとし，景気循環の理論を唱えた。

B　**フリードマン（米）**→マネタリストのリーダー

**ケインズ理論を批判**して市場原理を優先すべきとし，**「小さな政府」への復帰を主張**した。

※景気対策としての財政・金融政策を排し，貨幣供給量を経済成長率・人口増加率に合わせ一定に保つ**マネタリズム**こそが物価安定には有効で，**政府の経済への介入は効果がないと主張**した。

※ハイエク（米）らとともにシカゴ学派〔マネタリスト〕を形成。

C　ガルブレイス（加）

欲求の容量はあらかじめ与えられているのではなく，企業の宣伝や広告によってつくられると分析した（＝依存（いそん）効果）。

D　スティグリッツ（米）

行き過ぎた市場原理主義が格差を広げたとし，アメリカや IMF〔国際通貨基金〕によるグローバリゼーションを批判。

E　**セン（印）**

インドに生まれ，イギリスやアメリカで活躍する経済学者。世界の貧困（ひんこん）や不平等を解決するためには，各人の**潜在能力**〔**ケイパビリティ**〕を高める必要があると，**ケイパビリティ＝アプローチ**を説いた。1998 年，アジア人初のノーベル経済学賞を受賞。

## ⑨実物経済から金融経済へ

新自由主義による雇用規制の弾力化や社会保障の削減は，雇用を不安定にさせ，格差拡大や貧困率の上昇などの弊害をもたらした。さらに，経済のグローバル化や金融自由化の帰結として，タイ発の**アジア通貨危機（1997 年）**やアメリカ発の**リーマン＝ショック（2008 年）**など，**バブル**〔泡（あわ）〕の生成とその崩壊による国際的な金融危機が起きた。

※以後，新自由主義政策への批判が高まり，市場に対する規制を再度強化し，貧困対策を行うなど，政府・中央銀行の役割の重要性が再認識されている。

## ⑩経済のグローバル化〔グローバリゼーション〕

**貿易・直接投資**（貸付（かしつけ）・株式取得・債券（さいけん）保有・不動産取得など）**・金融**の３局面で，経済の国境を越えた相互依存と一体化が強まる傾向をいう。1990 年代の旧社会主義国における市場経済化と世界経済への統合，2000 年以降の新興国の台頭により，経済のグローバル化は急速に進行した。

※**多国籍企業**の活躍により，**国際資本移動の自由化**が実現。それにともない，統一的・包括（ほうかつ）的なグローバル＝ガバナンスの仕組みの構築が急がれる。

※しかし，グローバリゼーションは不平等の拡大をともなう。日本では，生産拠点の海外移転による雇用喪失（そうしつ）や，非正規労働者の増加により，中間層が縮小して格差が拡大した。格差解消を論じるトマ＝ピケティ（仏）の著書『21 世紀の資本』は，長く話題を集めている。

# ２　社会主義経済の成立と変容

## ①社会主義経済の成立

『帝国主義論』の著者**レーニン**らの**ロシア革命**（1917 年～）により，**ソビエト社会主義共和国連邦**が成立（1922 年)。私有財産制と利潤追求の自由の廃止，生産手段の公有〔社会的所有〕，**計画経済**，階級のない社会を目的とする。

※マルクスの思想を帝国主義の段階に合わせ発展させたので，マルクス・レーニン主義とよばれる。レーニンは，新経済政策〔NEP〕を行い，資本主義の部分的復活を認めていた。

※戦前の社会主義国は，ソ連の他にモンゴルがあった。

## ②社会主義経済の変容

当初は計画経済により景気循環や失業はなくなるとされたが，やがて工業生産の不振と生産性の低下に苦しむようになり，**市場経済の要素を取り入れざるを得なくなった。**

※企業や個人に危機感がなく，勤労意欲も高まらなかった。

1928 年　ソ連の**スターリン**による第一次五カ年計画（～ 32 年）

1933 年　第二次五カ年計画（～ 37 年）

**1945 年**　**第二次世界大戦終結**により東欧など各地に社会主義国が誕生

**1948 年**　金日成（キムイルソン）により**朝鮮民主主義人民共和国成立**

**1949 年**　毛沢東（もうたくとう）により**中華人民共和国成立**

1956 年　日ソ共同宣言

1958 年　中華人民共和国の大躍進（だいやくしん）運動

　※人民公社の開始（1985 年に完全解体，生産請負制に)。

1959 年　カストロ・ゲバラらによる**キューバ革命**

　※革命後，アメリカとの国交断絶により急速な社会主義化が進む。

1962 年　キューバ危機

1965 年　ソ連による利潤方式〔リーベルマン方式〕承認

1966 年　中華人民共和国の文化大革命（～ 76 年）

1971 年　台湾の中華民国から中華人民共和国へ国連代表権が移行

1972 年　日中共同声明

1978 年　中華人民共和国の**改革・開放政策**開始

　※鄧小平（とうしょうへい）により**社会主義市場経済**を導入。

　中華人民共和国による“四つの近代化”

　※農業・工業・国防・科学技術。

日中平和友好条約

1979年　米中国交正常化

1980年　中華人民共和国が４つの**経済特区**を設置(88年に海南(ハイナン)島を追加し５つに)。

1985年　ソ連の**ゴルバチョフ**書記長による**ペレストロイカ〔改革〕**開始

※グラスノスチ〔情報公開〕をともなう。

1986年　ベトナムの**ドイモイ〔刷新(さっしん)〕**政策開始

1989年　中華人民共和国で天安門事件起こる

**東欧革命**→ドイツでは**ベルリンの壁崩壊**

**マルタ島会談により東西冷戦終結**

1990年　**東西ドイツ統一**

**1991年　ソ連解体**

※ CIS〔独立国家共同体〕成立。

1993年　中華人民共和国が社会主義市場経済を憲法に明記

1995年　ベトナムのASEAN〔東南アジア諸国連合〕加盟

1997年　イギリスから中国に香港(ホンコン)返還

※「一国二制度」の特別行政区。

1999年　ポルトガルから中国にマカオ返還

※「一国二制度」の特別行政区。

2001年　中国のWTO〔世界貿易機関〕加盟

2010年　**中国のGDP〔国内総生産〕世界第２位**に

## ③社会主義経済崩壊の要因

A　計画経済推進のための情報的基盤の欠如(けつじょ)

B　適正価格を設定する計算能力の欠如

C　企業や個人に生産性向上や技術革新への動機づけを与えられず

※ノルマ主義の弊害(へいがい)。

# 第２講　経済分野確認テスト

1　「国家の富は貿易の差額によって蓄積される金や貨幣のみ」という考えを何というか？

①重商主義　②重農主義　③古典派経済学　④マルクス経済学

2　トマス＝マンやアダム＝スミスはどこの国の学者であったか？

①アメリカ　②フランス　③イギリス　④ドイツ

3　「小さな政府〔安価な政府〕」を理想とする国家観を，「夜警国家」と批判したドイツ人学者とは？

①ラッサール　②リスト　③マルクス　④エンゲルス

4　比較生産費説〔比較優位の理論〕を唱え，自由貿易論を唱えたイギリス人学者とは？

①リカード　②マーシャル　③ケインズ　④ピグー

5　マルクスやエンゲルスが「空想的社会主義者」とした人物としてふさわしくないものを選べ。

①サン＝シモン　②ロバート＝オーウェン　③フーリエ　④スターリン

6　アメリカで世界恐慌が発生した年は？

① 1914 年　② 1929 年　③ 1939 年　④ 1943 年

7　新自由主義の指導者としてふさわしくない者を選べ。

①フランクリン＝ローズヴェルト（米）　②レーガン（米）
③サッチャー（英）　④中曽根康弘（日）

8　マネタリズムを唱えた学者とは？

①アダム＝スミス（英）　②ケインズ（英）
③シュンペーター（墺）　④フリードマン（米）

9　1917年，ロシア革命を起こした『帝国主義論』の著者とは？

①マルクス　②レーニン　③スターリン　④ゴルバチョフ

10　ドイモイ〔刷新〕政策を行い市場経済を導入した社会主義国は？

①ラオス　②中華人民共和国　③ベトナム　④キューバ

解答

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1　① | 2　③ | 3　① | 4　① | 5　④ |
| 6　② | 7　① | 8　④ | 9　② | 10　③ |